

施策No.	政策名	活力ある産業のまちづくり	主管課	商工観光課	主管課長名	
4-3	施策名	観光の振興	関係課	農林課、生涯学習課、都市整備課、企画課、ヤマザクラ課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		桜川市に訪れる観光客	①1都、6県の人口	千人	見込値	43,538	43,638	43,738	43,838
実績値	43,538				43,527				
					見込値				
実績値									
目的	施策の意図	成果指標名	単位	区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	交流人口増によりにぎわいが生まれ、経済が活性化している。	①観光客入り込み客数	人		目標値	360,000	370,000	380,000	390,000
実績値					181,198	214,211			
②イベント来場者数		人		目標値	50,000	55,000	60,000	65,000	70,000
				実績値	650	10,200			
③お土産品開発数(5か年累計)		件		目標値	2	4	6	8	10
				実績値	2	4			
④観光協会会員数		人		目標値	180	185	190	195	200
				実績値	177	172			
				目標値					
				実績値					
成果指標設定の考え方	①観光客の動向 ②交流人口による地域のにぎわい ③経済への貢献度 ④観光に関心を持つ人材の発掘・育成								
成果指標の把握方法と算定式等	①茨城県観光客動態調査による数値(真壁のひなまつり、桜祭り、真壁祇園祭、みかん狩りを含む)とキャンプ場2カ所の利用者数 ②SAKURAフェスティバル、納涼大会、地域・市民主体によるイベント等の来場者数(岩瀬駅前夏祭り、かつたて祭り、十三夜祭、まかべ日和、秋さんぼ等) ③経済活動を意識した観光客向けお土産品の開発件数 ④観光協会の会員数								

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)			
実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	①観光客入り込み客数は、前年度181,198人に対し、令和5年度は214,211人で33,013人増加した。 ②イベント来場者は、前年度650人に対し令和5年度は10,200人で9,550人増加した。 ③お土産品開発件数は、前年度2件に対し令和5年度は2件で同様の件数となった。 ④観光協会会員数は、前年度177人に対し令和5年度は172人で5人減少した。		
2) 成果目標の達成状況			
実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを下回った	
背景・要因	①観光客入り込み客数は目標値370,000人に対し、実績値214,211人と目標値を下回った。 ②イベント来場者は目標値55,000人に対し、実績値10,200人と目標値を下回った。 ③お土産品開発件数は目標値4件に対し、実績値4件であり、目標値どおりの成果であった。 ④観光協会会員数は目標値185人に対し、実績値172人であり、目標値を下回った。		

3. 施策の成果実績に対するの総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対するの総括	今後の課題・方針
令和5年度に貢献した事業は「山桜保全事業」、「観光PR広告動画作成事業」、「人材育成事業」であった。 「山桜保全事業」では、1982年から全国の桜の名所をもつ自治体で毎年開催されているシンポジウムに(桜の鑑賞を永年にわたり楽しめるよう桜の名所の修景や利用のあり方、保全技術等をテーマに開催されている)2024年4月4、5日に桜川市で開催が決定。その準備として実行委員会を設立し、シンポジウムに向けた市民と行政の協働による桜を活かしたまちづくりにより、ヤマザクラの保全管理や人材育成、観光振興PR文化の醸成などに繋がられた。 「観光PR広告動画作成事業」では、市の観光名所を紹介する観光PRポスターの全12枚を題材とした、ショートストーリーに基づいて、市内各所で撮影が実施された。「人材育成事業」では、令和3年度より開講している「桜守養成講座」にて、初級、中級、上級講座を3年間かけて全て修了した生徒が7名輩出された。今後、観光案内ボランティア等に従事していただきながら、観光振興に寄与していただきたい。	最優秀賞を受賞した観光PRポスターショートストーリーを原案として市の観光名所を紹介するPR動画を令和6年度まで作成し、桜川市の魅力・知名度アップへ繋げる。 コロナが5類感染症になり、各イベントがコロナ禍前と同様に開催できるようになったことから、コロナ禍前の賑わいを取り戻せるよう支援等を実施する。 自転車活用推進計画に掲げられた施策について担当課を整理し、推進プロジェクトにおいて実施計画を立て、各役割を主体課が連携することにより自転車活用の取り組みの推進を強化する。